

総合福祉センター 建設計画の見直しを！

多目的ホールは1階で

四次総で多目的ホール解体後総合福祉センターが二階建てで計画されていた。一階で計画された社会福祉協議会やシルバー人材センター等はふれ愛の家が移転改築されるので現在地で福祉ゾーンとして利用すればよい。二階に計画された多目的ホールはどうしても必要、高齢化社会を考えると一階でないかと困る。国体後どうするのか。計画の見直しを。

町長

現在の多目的ホールは非常に使い勝手のいい体育館なので修理や塗装をして国体後も出来るだけ長く使いたい。総合福祉センターは五次総にハード面は入れない予定。

中央公民館のレンガ、 雨もりの修繕を



中央公民館テラスのレンガはがれ

中央公民館のホールと会議室を二階で連絡するテラスのレンガが(6メートル四方)はがれ、そこから浸透した雨水が浸みてつららが出来ている。早急に修理を。

町長

業者に調査してもらった。レンガから浸透した雨水ではなく、壁面のクラックから浸透した雨水でつらら状の物が出来たと確認した。レンガと壁面の補修を次の補正予算で対応します。

乳幼児の細菌性髄膜炎予防 ヒブワクチン接種に助成を！

日本では乳幼児が細菌性髄膜炎に年間約千人が感染しそのうち5%は死亡、25%は重い後遺症で悩まされています。それに有効なのがヒブワクチンで世界では約120カ国が使用、90カ国では定期的な接種がされ感染者が100分の1以下になっている。日本では昨年の12月から使用出来るようになり県内でも昨年大垣市が、今年から関市が助成することになった。しかし、一回の費用が七千五百円ぐらいで四回接種しなければならず大変高額で普及していない。また、ワクチンも不足していて予約制になっている。ヒブワクチンの接種にたとえ一回でも助成し不幸な子供さんが出来ないようお願いしたい。

町長

保健センターに問い合わせがきている。国での体制づくりや供給状況を見ながら任意接種のインフルエンザ等を踏まえ検討します。



その他に新型インフルエンザ対策、政権交代に伴う国の政策変更についての対応について質問。